



亀谷 梢 議員

スクールバス及び部活動の移動の安全管理について

質 部活の遠征時の事故の報道を受けて、教育委員会としては何らかの安全周知の徹底に向けた話し合いが持たれたか。各学校への周知を行ったか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

特に通知文書などは発送していませんが、学校のほうに確認しています。学校側としては、この県外でのバス事故を受けて、学校職員には交通安全について徹底した注意喚起をしていると伺っています。

質 スクールバス運行委託状況について、委託業者の安全体制の状況を把握しているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

受託事業者が一般旅客自動車輸送事業者となっており、「道路輸送法」に基づいて、「安全管理規定」を作成し、出

退勤時のアルコールチェックや健康診断結果の把握など、安全管理体制を構築していると認識しています。アルコールチェックなどの未受診者は運行させないなどの対応を取っていると認識しています。

質 乗車パスがあると聞いています。どのような形で使用しているかを伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

乗車パス、子供たちのほうに作成していることは認識しています。この子供、児童生徒がどこから乗る生徒であるというふうに認識するためのパスというふうに、乗車の際に確認はしている

質 恩納村としてのスクールバスの危機管理マニュアルは作成されているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

受託事業者のほうで危機管理マニュアルは現在ないというふうに伺っています。それに代わるものとして、「安全運転管理規定」、「重大事故、事件発生時の緊急連絡体制」の構築、毎月1回の「安全運転に関するミーティングの実施」など、「道路輸送法」に基づき必要な措置を講じていると伺っています。

質 喜瀬武原く、安富祖小学校の現在の送迎の状況、帰りはどうされているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

安富祖小学校へ通う喜瀬武原地区の

児童生徒の送迎状況は、現在、うんな中学校のスクールバスを活用しています。現在は6名がバスを利用している状況です。帰りは、個別に別の車両で、喜瀬武原まで送迎していると伺っています。

質 こども園の送迎についての状況ですが、体制はどうなっているか伺う。

答 こどもみらい課長（仲村 成子）

現在24名の園児が利用しており園児は一人一人座席を決定し、毎回同じ座席に乗車することで、園児の把握と安全確保を徹底しています。こども家庭庁が示す安全基準に基づき、国の基準に準拠した運行体制を行っています。

第2次男女共同参画行動計画画ナビープランについて

質 第2次男女共同参画行動計画ナビープランの作成の経緯と内容を伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

第2次プランの策定に当たり、女性活躍推進法施行やSDGs未来都市など、社会情勢の変化も後押しとなり、策定審議会において約1年半議論がされています。村民、事業者、行政が連携して、着実に推進していくことが求められているという答申を受け、策定された経緯があります。中身としては、第2次計画においては、「お互いを認め合い、ひとりひとりが輝ける村」を基本理念に、基本目標を3つ定め、各種の施策を展開しています。

質 恩納村男女共同参画推進条例の第17条に、村長は毎年男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について公表しなければならないとあります。毎年どのような形で公表されているのか伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

県、国からの調査等については公表しています。計画図に載っている構図のような報告は、毎年度はされてないです。この辺をどのようにしていくか、しっかりと改善していきたいと考えています。

団体の必要性と婦人の家の利活用について

質 各団体の書類の保管場所や会議等の団体室がないということです。各団体室をつくる必要性はないか伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

団体室は、役場の閉庁時間以外でも使えるような形で利用できる会議室は、一定の役割を担っているものと認識し、必要であると理解をしています。

質 婦人の家の活用について、団体の会議室として利用可能か伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農林水産課でも、村赤土協議会での活動を予定しており、その書類保管場所に関しては、スペースの確保は厳しいと考えています。会議等に関しては、特に問題はないと考えています。

文化財の整備について

質 仲泊一里塚の木々の剪定について2階より高いところは台風シーズンにならないうちに剪定してほしいとの要望に対し、村有地であればすぐに作業を進め、民有地、字有地であれば地権者の承諾が必要なので、並行しながら進めていきたいと答弁されたのですが、その後どうなったのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

仲泊の一里塚の指定地は民有地及び字有地が含まれており剪定を実施するには、地権者等との承諾手続や実施の調整が必要となり関係者との調整を進めています。

文化の振興について

質 恩納区所有の土地とナビー屋敷跡を公園化することはできないか。公園化することで、マッコウ家の石碑も目の目を見ることができるとは、将来的な整備に向けて恩納区との意向を確認した上での整備が必要で、恩納区へ協力を求めているか。と答弁されたのですが、恩納区との話し合いはされたのか伺う。

答 企画課長（宇江城 悟）

恩納区長よりお話を伺いました。内容は過去に、マッコウ家の石碑所在地の有効活用を検討し当該土地が民有地であるということから、有効活用については、総会に諮って一度白紙に戻したという経緯を伺っています。村としても、マッコウ家を含め、周辺には幾つもの文化財や文化資源が点在し、本村の歴史・文化の面から大変貴重な場所と認識しており、引き続き地元恩納区の意向を尊重しながら、文化振興に向けた活用について関係課と連携して、検討していきたいと考えています。

カンジャガーの整備について

質 ナビーの屋敷跡に隣接するカンジャガー。村の指定有形文化財になっている。ナビーもこのカンジャガーの水で産湯をつかったと思います。そして命の源である水を毎日くみに行ったと思います。カンジャガーは以前、恩納村の給食センターにも使われていたと聞いています。このすばらしい文化財をきれいに整備してほしいと思うが当局の見解を伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

村指定文化財カンジャガーは、地域の歴史を伝える貴重な歴史的資源であ

ると認識しています。文化財は昔から造られたものを後世に伝えるためにも、歴史的景観や現状の姿を尊重し、可能な限り当時の形状や雰囲気を残しながら保存していくことも重要であると考えています。今後の整備や保存の在り方は地域の意向も確認し文化財としての価値や保存を踏まえ対応していきたいと考えています。

仮称ナビーロードについて

質 ナビーの屋敷跡から、恩納松下の碑、恩納番所を通って、万座毛までの道をナビーロードと称して整備することはできないか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

ナビー屋敷跡から万座毛へ至る道は、本村の誇る歴史的・文化的な価値を感じられる魅力的なルートであると認識しています。社会教育課としては、このルートを生かし、これまでも実施してきた地域学習などの取り組みをベースに、子供たちの郷土愛を育むため、教育・地域学習の場として活用・発信に努めていきたいと考えています。



恩納ナビー生誕跡地（マッコウ家）